

## 補完学習活動「ろう者と通信について学ぼう！」学習指導案

1.対象：手話奉仕員養成講座修了者（10名）

2.指導の形態：通常教室（120分）

3.指導の目的：

- (1)通信の定義を知る
- (2)きこえる人とろう者における通信手段の違いを知る
- (3)ろう者の通信における現状を理解し、今後の展開について考えることができる

4.指導に当たって

- ・KJ法を用いた整理手法を習得することで、学習者自身の思考力向上へ貢献するとよい
- ・グループ討議に進む際には、一人一人が想像力を持ち、課題発見および対策を整理することができるように、ワークシート（白紙）を準備するとよい。

5.本時の展開

過程	学習活動	指導・支援内容	評価の観点
導入	通信について理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ法の説明（目的と方法）</li> <li>・KJ法で「通信手段」に関して、付箋紙に1葉／枚毎に記入し、カテゴリー毎に分別する。（3人／組）</li> <li>・学習課題を掲示する</li> </ul>	積極的に参加できているか？
展開	ろう者が利用している通信手段について理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ法で整理した通信手段の中から、ろう者が利用できる範囲を確認する。</li> <li>・動画を視聴 「通信の歴史」＜0:00～6:00＞</li> <li>・協議（A2サイズ模造紙を配布） テーマ『ろう者が利用している様々な通信手段の長短を考えてみよう』 （3人／組）</li> </ul> <p>それぞれのグループから代表を決め、発表してもらう。</p>	<p>映像をしっかりと視聴し、ワークシートに記入できているか</p> <p>【観察】</p> <p>協議を通して、ろう者における通信手段の理解を深めているか</p> <p>【観察】</p>
まとめ	まとめ	<p>[指導者のコメント]</p> <p>通信手段の発達における恩恵と将来への希望を簡潔に述べる</p>	

6.参考・引用文献

ろう者学教育コンテンツ開発プロジェクト, <http://www.deafstudies.jp/eLearning>, ろう者学教育コンテンツ Web サイト, コミュニティ「通信の歴史」

資料1 ワークシート(例)

1.映像を見て、ろう者における通信手段はどのようなものがありましたか？

2.ろう者とのやりとりにおいて、注意しなければならないことは何ですか？